

## 倫理委員会審議内容

令和1年6月21日開催

No.1	申請者 : 精神科 原田 聰志	
課 題	ADHDへ特化したペアレントトレーニングの効果に関する無作為比較化試験	
研究の概要	<p>目的は、十分なエビデンスに基づいた効果的なペアレントトレーニングを開発し、地域でADHDを持つ子ども、親、家族を支える支援を普及させることである。ペアレントトレーニングの質を保証するためには人材養成システムの構築が重要であり、以下の3つの具体的な目的を達成する。</p> <p>目的1.当該PTの地域実践におけるRCT効果及び効果の持続性の検証 目的2.当該PT人材養成システムの構築 目的3.当該PTの費用対効果の検証</p> <p>本研究では、無作為比較化試験を用い、当該トレーニングを受講するグループ(治療群)と医療機関で提供されている支援サービス(薬物療法を含む)を自由に受けながら待機するグループ(TAU群)を比較することで効果を検証する。</p>	
判 定	承認	
利益相反審査判定	承認	